

地方都市視察報告書

自治・議会・行財政改革等特別委員会

1 実施日

平成30年7月3日（火）

2 視察地 滋賀県大津市

【市の概要】

- (1) 面積 464.51 km²
- (2) 人口・世帯数（平成30年6月1日現在）
 - 人口 342,908人
 - 世帯数 147,824世帯



- (3) 大津市は、滋賀県の南西端に位置する市で、同県の県庁所在地である。中核市に指定（平成21年4月）されている。天智天皇が近江大津宮に遷都して以来、1350年以上の歴史を有する古都である。戦時中の被災や自然災害が少なかったことにより、世界文化遺産の延暦寺、園城寺（三井寺）、日吉大社、石山寺などの古社寺をはじめ、多くの文化財や史跡、名勝が現存する。市町村単位での国指定文化財保有件数は、京都市、奈良市に次いで、全国で3番目に多い。県下随一の規模と歴史を有し、第1回地域ブランドに認定されたおごと温泉や、日本三名橋の一つ瀬田の唐橋、かるたの聖地として知られる近江神宮も所在する。

市域は、琵琶湖の主要な港湾である大津港を擁し東海道の宿場であった大津を中心に、膳所藩の城下町であった膳所、比叡山の門前町や港湾として栄えた坂本、湖上交通の拠点であった堅田、近江国庁のあった瀬田などからなる。滋賀県の県庁所在地かつ最大の人口を抱える都市であるが、県の南西端に位置し京都市に隣接し、同市の衛星都市としても発展してきた。また、東レ創業の地であり、現在も主要な研究開発および生産拠点となっている。

3 視察項目・内容

議会改革について

4 視察参加者

【委員】

田中のりひで委員長	宮坂俊文副委員長	豊島あつし委員
木もとひろゆき委員	三雲崇正委員	川村のりあき委員
野もとあきとし委員	渡辺清人委員	あざみ民栄委員
吉住はるお委員	のづケン委員	伊藤陽平委員
かわの達男委員		

【随行】

議会事務局議事係 濱野 智子 仙崎 雄介

5 視察結果・所感

大津市の視察については、議会改革をすすめる当委員会にとっても大変有意義なものであった。視察にあたっては事前に各会派から質問を出してもらい、事前に大津市に伝えることでより深い視察にすることに努力をした。当委員会では、ICT化によるペーパーレス化が課題になっており、前期には豊島区議会への視察や、この視察に先立ち、さいたま市議会へも視察を行った。今回の視察では、ICT化によるペーパーレスの効果は難しい旨の説明もあったが、システム導入費用や導入までの経過などについて活発な質疑が行われた。

また、議会ミッションロードマップについては、見直し等により中断したテーマの検討内容について、議員間や執行機関との間での情報共有の方法についても質疑を行った。大津市では、いじめ防止条例について議会で検討が行われ条例提案が行われた。その点では会派の枠を超えて各分野各課題ごとに議会としての政策提案が積極的に行われていた。そこでは、議員間の討議が活発に行われ、二元代表制としての首長部局と議会が良い緊張感を持つことができているようであった。さらに議会が政策立案能力を高めるためにいくつかの大学と連携を行っているのも印象的であった。新宿区議会として大津市議会から学ぶことは多々あるとの感想を持ち、今後の議会改革にもぜひ活かしていきたい。

6 主な質疑項目

- (1) ICT化によるペーパーレスの効果について
- (2) ICT化のシステム構築における導入費用やスケジュールについて
- (3) 会議システム等を導入するまでの議論について
- (4) 会議資料のデータ化におけるメリットや利便性について
- (5) 議会の大学との協定、連携について
- (6) 政策検討会議等、議員間討議の活性化について
- (7) 議会ミッションロードマップの見直し等により中断したテーマの検討内容に関して、議員間や執行機関との間での情報共有の方法について
- (8) 政策立案のための事務局の体制強化について

7 その他

【共同視察者】 議会事務局次長 下杉 正樹